

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学学長選考規程

平成16年10月1日
規程第 2 号

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人法（平成15年法律第112号）及び国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学基本規則（平成16年基本規則第1号）第9条第2項の規定に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学長（以下「学長」という。）の選考に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この規程において「第1次学長候補者」とは、学長選考・監察会議に推薦された学長候補者をいう。
2 この規程において「第2次学長候補者」とは、学長選考・監察会議が選出し、学内意向聴取の対象となる学長候補者をいう。

(学長選考の機関)

第3条 学長候補者の選考は、学長選考・監察会議が行う。

(学長候補者の選考)

第4条 学長候補者の選考は、人格が高潔で、学識に優れ、かつ、奈良先端科学技術大学院大学の教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者のうちから、学長選考・監察会議が定める基準により行う。
2 学長選考・監察会議は、前項の基準を定め、又は変更したときは、当該基準を遅滞なく公表する。

(学長候補者の選考時期)

第5条 学長候補者の選考は、次の各号のいずれかに該当するときに行う。
(1) 学長の任期が満了するとき。
(2) 学長が辞任を申し出たとき。
(3) 学長が欠員となったとき。
(4) 学長が解任されたとき。
2 学長候補者の選考は、前項第1号に該当する場合、原則として任期満了の3箇月以前に行う。ただし、第17条の再任審査による学長候補者の選考は、原則として任期満了の9箇月以前に行う。
3 学長候補者の選考は、第1項第2号、第3号又は第4号に該当す

る場合、それぞれ当該各号に該当する事由が生じたとき速やかに行う。

(学長候補者の選考の公示)

第6条 学長選考・監察会議は、学長候補者を選考するとき、別に定める事項を公示する。

(第1次学長候補者の推薦)

第7条 学長選考・監察会議は、次の各号による第1次学長候補者の推薦を求める。

(1) 学長選考・監察会議委員による推薦

(2) 推薦者5人による推薦

2 前項の推薦は、あらかじめ本人の同意を得なければならない。

3 第1項第2号の推薦者は、前条の公示の日に在職する常勤の役員(監事を除く。)及び常勤の職員とする。

4 第1項の推薦に関し必要な事項は、別に定める。

(第2次学長候補者の選出)

第8条 学長選考・監察会議は、前条の第1次学長候補者を対象に意見聴取を行い、3人以内の第2次学長候補者を選出する。

2 学長選考・監察会議は、第2次学長候補者を選出したとき、遅滞なく、推薦者の代表に選考結果を通知する。

3 学長選考・監察会議は、第2次学長候補者について別に定める事項を公示する。

(学内意向聴取)

第9条 前条の第2次学長候補者を対象として、単記無記名投票による学内意向聴取(以下単に「意向投票」という。)を行う。

(投票実施委員会)

第10条 学長選考・監察会議は、前条の意向投票を実施するため、投票実施委員会を設置する。

2 投票実施委員会は、学長選考・監察会議が指名する5人の委員をもって組織する。

3 第2次学長候補者は、前項の委員になることができない。

4 投票実施委員会に委員長を置き、学長選考・監察会議が指名する。

5 委員長は、投票実施委員会を主宰する。

(投票の公示)

第11条 投票実施委員会は、意向投票の実施について、別に定める

事項を公示する。

(投票資格者)

第12条 意向投票の投票資格者は、前条の公示日に在職する者で、次の各号に掲げるものとする。ただし、休職中、停職中又は海外渡航中の者及び投票の日までに離職した者は、投票資格を有しない。

- (1) 学長
- (2) 理事（非常勤は除く。）
- (3) 専任の教授
- (4) 事務局長
- (5) 事務局の部長、次長及び課長

(意向投票の実施)

第13条 第2次学長候補者について、投票資格者による意向投票を行う。

(不在者投票及び代理投票)

第14条 投票日に公務による出張及び研修により投票できないときは、不在者投票を行うことができる。

2 代理投票は、認めない。

(開票及び結果の報告)

第15条 投票実施委員会は、意向投票の終了後、開票を行い、速やかにその結果を学長選考・監察会議に報告するとともに、学内に公表する。

(第2次学長候補者を対象とした学長候補者の決定)

第16条 学長選考・監察会議は、意向投票の結果を参考に、第2次学長候補者のうちから学長候補者を決定する。

(再任審査)

第17条 学長選考・監察会議は、現に在職する学長（以下この条において「現学長」という。）が引き続き再任されることができるとき、第7条から前条までの規定にかかわらず、再任審査として、現学長を対象に意見聴取を行い、学長候補者を決定する。

2 前項の再任審査は、学長選考・監察会議が、現学長の業務執行状況その他の事情を総合的に考慮の上、再任審査を行うことが適当であると事前に認め、現学長に対し再任の意思があることを確認した場合に開始する。この場合において、別に定める書類の提出を現学長に求める。

- 3 学長選考・監察会議は、前項の再任審査を開始しない場合又は第1項の再任審査の結果、現学長の再任を否とした場合は、第7条から前条までの規定に基づき、改めて学長候補者の選考を行う。

(学長候補者の決定方法)

第18条 第16条及び前条第1項の学長候補者の決定は、合議により行う。

- 2 学長選考・監察会議は、前項の規定により難しい場合、投票により学長候補者を選考することができる。
- 3 前項の選考の方法に関し必要な事項は、別に定める。

(公表及び申出等)

第19条 学長選考・監察会議は、第16条及び第17条第1項の学長候補者の選考結果を学長に報告するとともに、次に掲げる事項を遅滞なく公表する。

- (1) 学長候補者の氏名
- (2) 任期
- (3) 選考理由
- (4) 選考過程

- 2 学長は、前項の報告があったとき、速やかに、次期学長の任命を文部科学大臣に申し出る。

(その他)

第20条 この規程に定めるもののほか、学長の選考に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月21日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年1月20日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。